

株式会社SHOEI 2022年9月期第2四半期決算説明資料



I

2022年9月期第2四半期決算実績

P. 2

II

2022年9月期業績予想（現時点で変更せず）

P. 9

I. 2022年9月期第2四半期決算実績

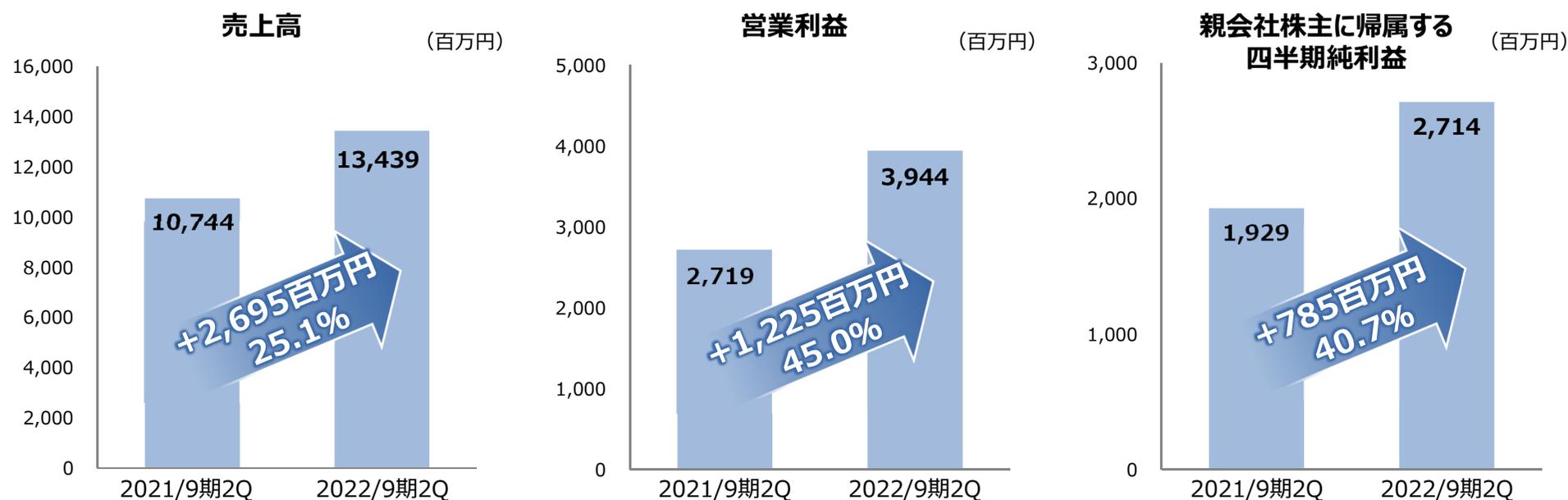


① 決算実績概要



2022年9月期第2四半期決算のポイント

- ① 好調な受注状況のなか、生産能力増強により、販売数量は前年同期比+69千個（+22.3%）
- ② 中国向けは現地代理店の発注が他地域の代理店に出遅れた影響で前年同期比大幅減だが、先進国向けは総じて二桁増と好調
- ③ 販売数量増に加え、円安効果、販売費および一般管理費が想定より伸びが小さかった等から、営業利益は前年同期比+45%



期中平均為替レート
(2022年9月期2Q)

US\$ = 114.83円
(前年同期比+9.84円)

EUR = 130.05円
(前年同期比+4.11円)

海外子会社換算レート
(2021/12末)

US\$ = ¥115.02
(前年同期比+11.52円)

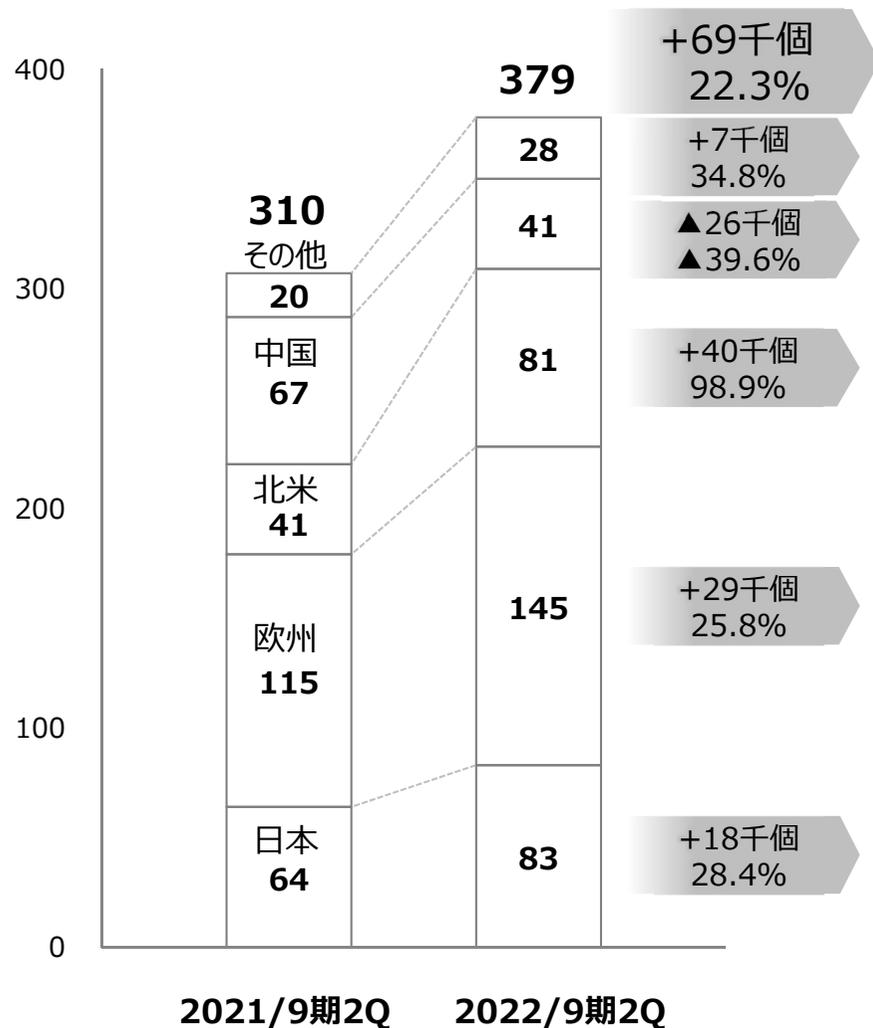
EUR = ¥130.51
(前年同期比+3.56円)

②地域別販売個数・売上高（連結）

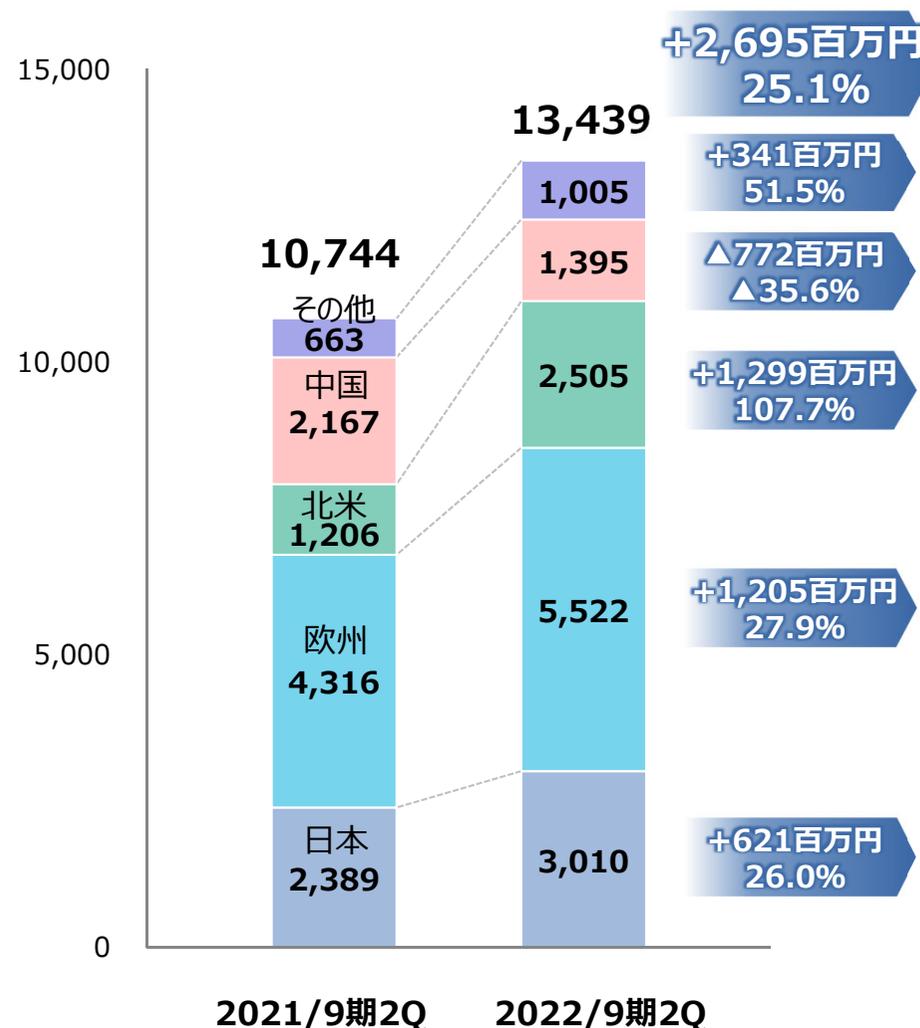


地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



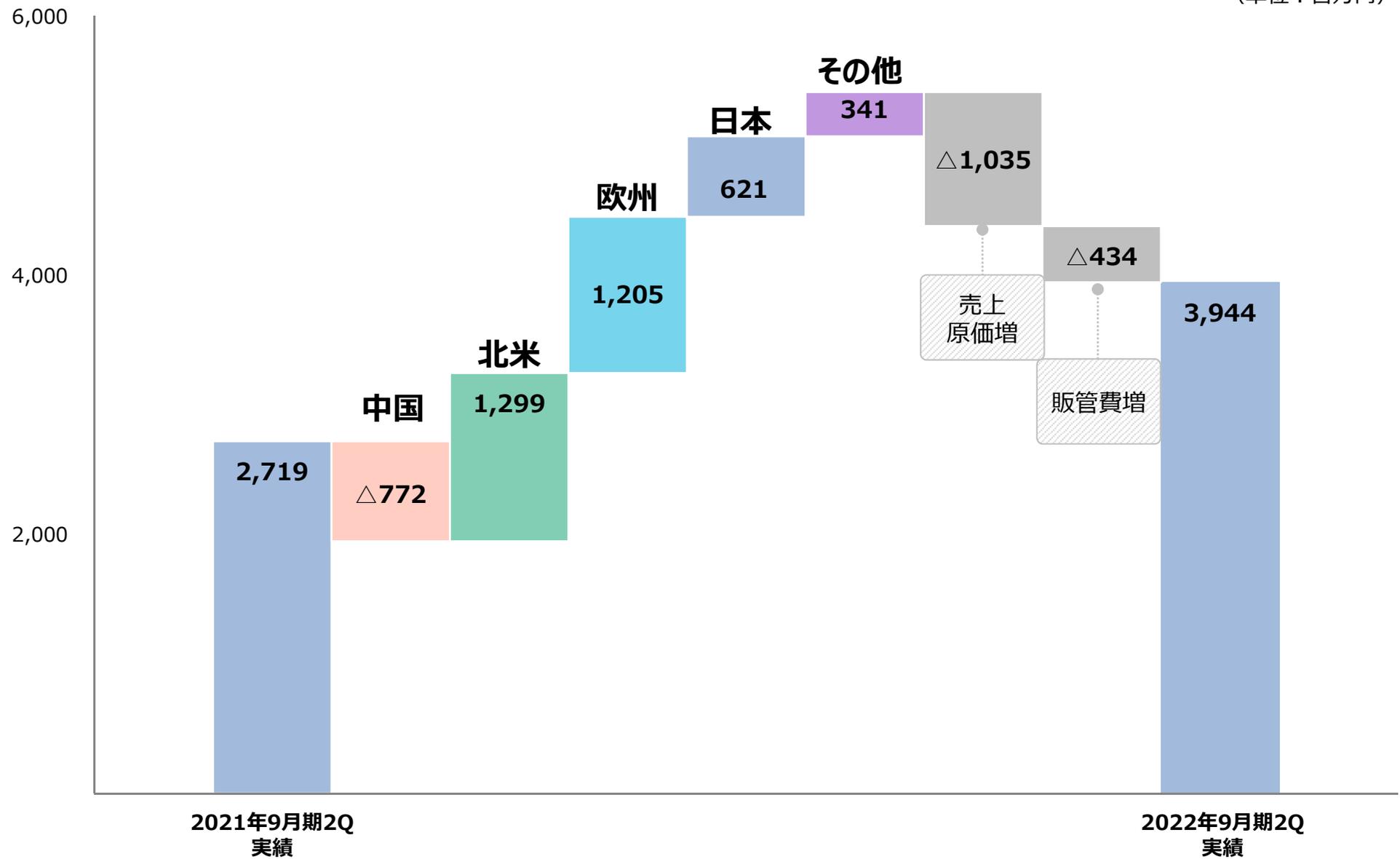
売上高（百万円）



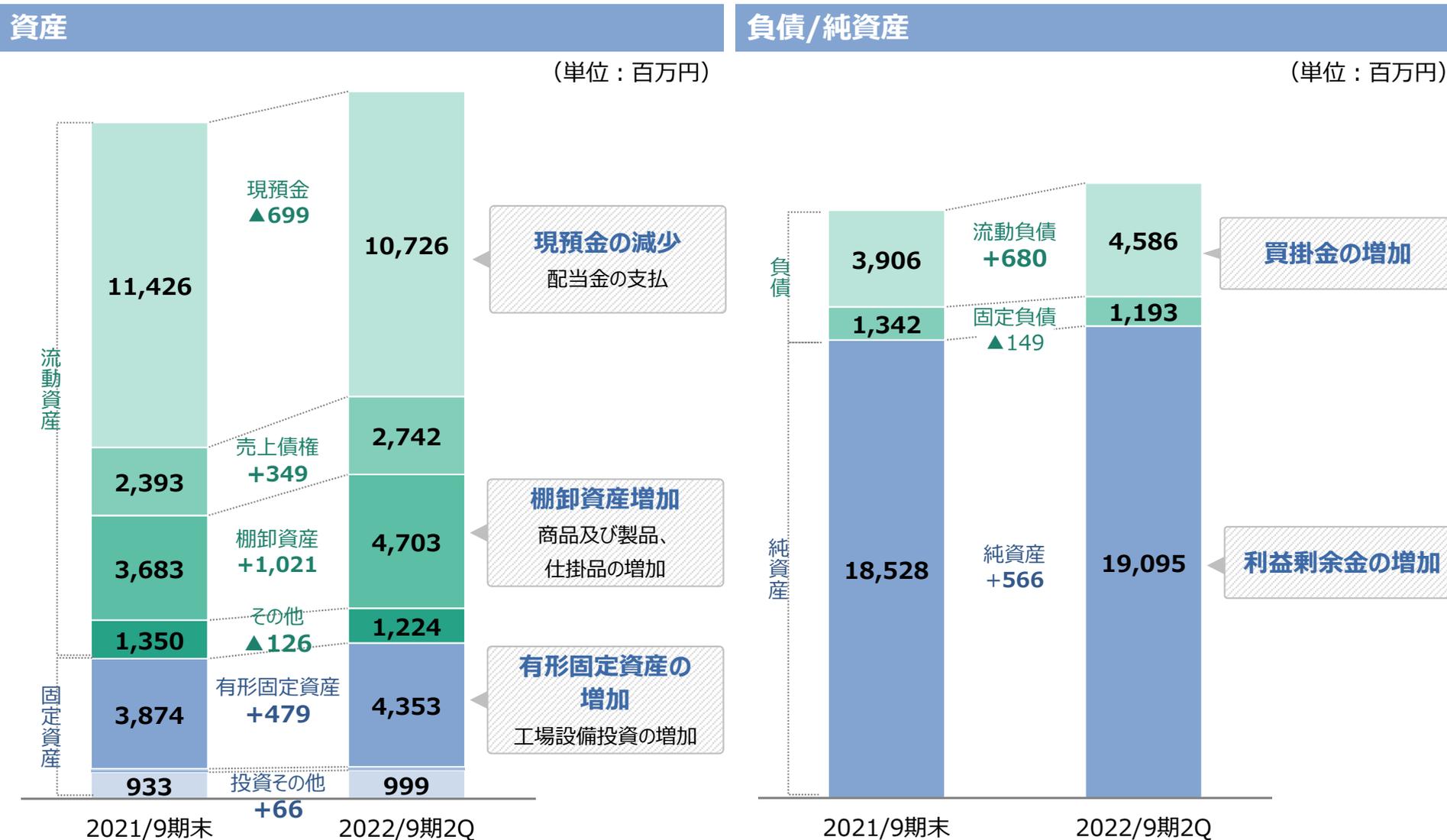
③ 営業利益増減要因 (実績)



(単位：百万円)



④ 貸借対照表 (B/S) (連結)

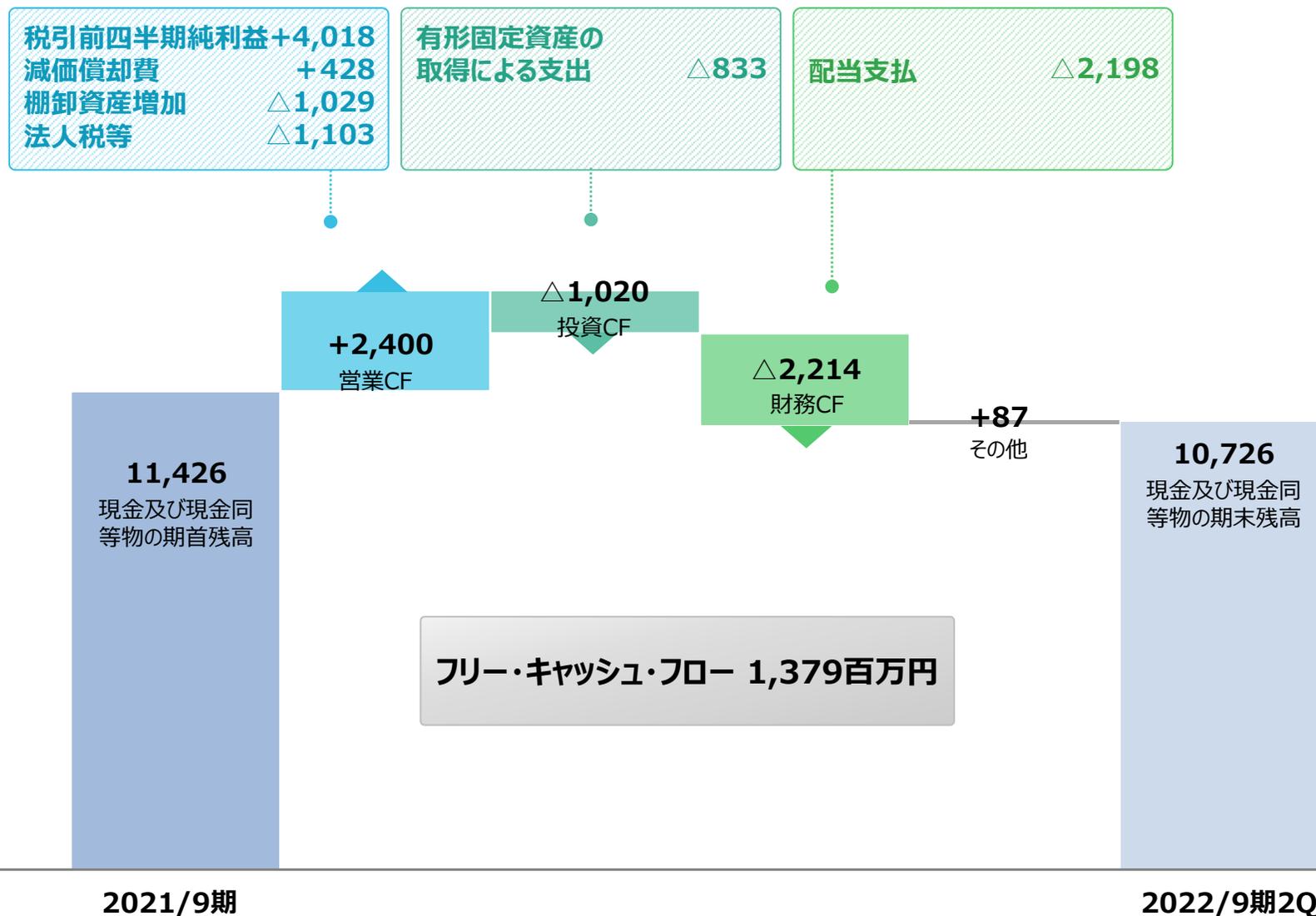


自己資本比率 **77.9%** ▶ **76.7%**

⑤ キャッシュ・フロー計算書（連結）



(単位：百万円)



税引前四半期純利益 +4,018
減価償却費 +428
棚卸資産増加 △1,029
法人税等 △1,103

有形固定資産の取得による支出 △833

配当支払 △2,198

2021/9期

2022/9期2Q

⑥ 2022年9月期第2四半期トピックス



- 現行ラインナップの前モデル、グラフィックを展示し、お客様の試着要望や商品に関するご質問にお答えすると共に、お客様のニーズに直接接することにより品質向上と新製品開発の一助とする
- 3年ぶり開催の『大阪・東京モーターサイクルショー』に出展

直販ショールーム SHOEI Gallery OSAKA オープン

SHOEI製品の展示スペース：SHOEI Gallery OSAKAを東京に続く二店舗目として2021年12月10日にオープン（最寄：新大阪駅）

現行ラインナップ品で発売中の製品を展示・発売、全て試着可能
PFSサービスを提供



『大阪・東京モーターサイクルショー』出展（2022年3月）

毎年春の3日間に渡って催されている、日本国内で最大規模のオートバイ、部品、用品の見本市『大阪・東京モーターサイクルショー』に出展

2022年発売予定のスマートヘルメット「OPTICSON（オプティクソン）」
体験コーナーを設置



Ⅱ. 2022年9月期業績予想

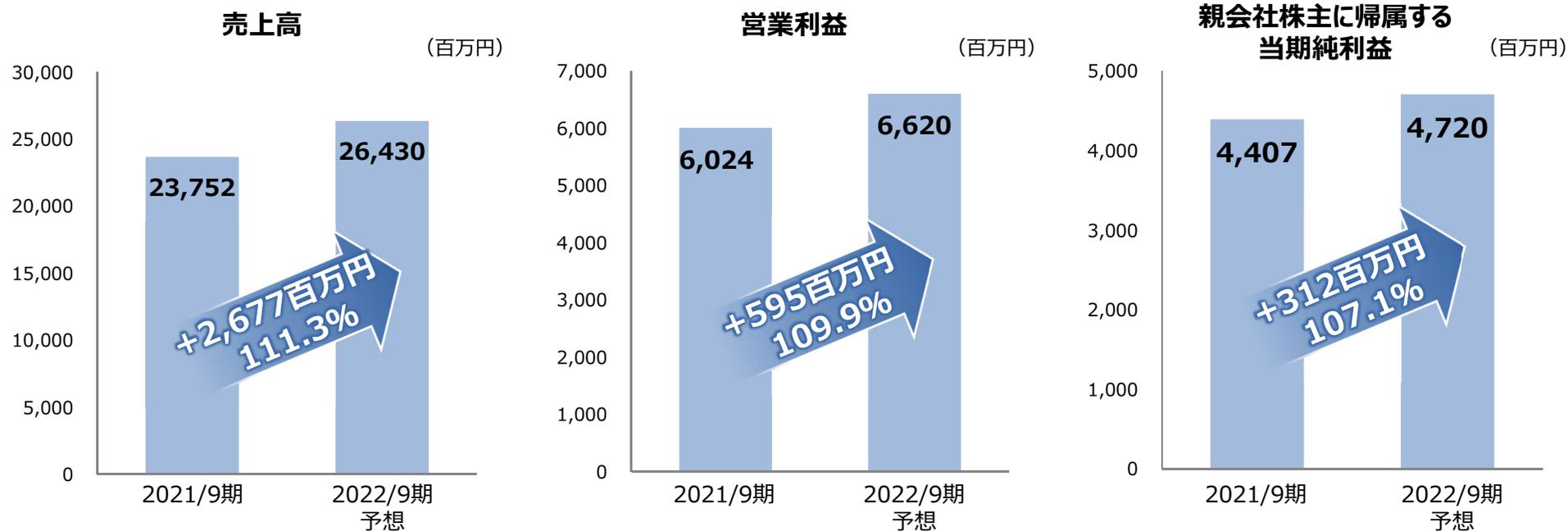


①売上・利益予想（現時点で変更せず）

売上・利益予想に関するポイント

上半期業績は、売上高、各利益ともに計画値を上回って推移しているものの、様々な先行き不透明な要因（以下）も認められるため、現時点において通期連結業績予想は変更せず

- ① ポストコロナにおける2輪車用品需要の市場の推移
- ② 国際物流の不安定な状況
- ③ 原材料価格上昇リスク
- ④ 為替急変リスク
- ⑤ 地政学リスクの高まり等



② 2022年9月期マーケット環境とトピックス（販売・商品・生産）

販売戦略

全般	先々の受注は工場の安定稼働という観点からは歓迎するが、代理店が不良在庫を抱えるリスクも増えることになるので、今年になって月次の受注をコントロールしている
欧州	新規格ECE06対応、ロシア・ウクライナ問題の影響等に関連する情報を積極的に収集
北米	米国では引き続き二輪関連市場は好調に推移
アジア	中国市場における需要は高い水準で推移しているが、当地代理店からSHOEIに対する発注が他の地域の代理店に出遅れたため、日本出荷ベースは前年度比減で推移。ただし、上述受注コントロールの結果、最近の当地代理店からの発注は改善傾向
日本	引き続き好調な需要が持続するものと想定、直販ショールーム（SHOEIギャラリー）大阪店を本年12月にオープン済、ニーズに応え今後さらなる出店を検討

商品戦略

- スマートヘルメット「OPTICSON」



- レプリカヘルメット戦略を強化



Marc Márquez 選手
レプリカモデル



森 且行 選手
レプリカモデル

- 欧州新安全規格（ECE06）への確実な合格と、SHOEIらしい斬新性の追求を両立させつつ、主力商品モデルチェンジをタイムリーに行っていく

生産戦略

- 2022年9月期の生産体制：年産77万個までの能力増強を推進中
- 中期の生産能力増強対策：茨城工場の隣地を2022年1月に確保（造成完了及び引渡しは2023年夏頃の予定）



IRに関する
お問い合わせ先

株式会社SHOEI

電話

03-5688-5160

e-mail

ir@shoeihelmet.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。